

岩手高教組情報

No. 1

 2018年
4月25日(水)

 岩手県高等学校教職員組合 〒020-0883 盛岡市志家町11番13号 高校教育会館内
 TEL 019-624-5227 FAX 019-653-2285 E-mail:iwako@jtu-iwako.jp
 岩手高教組機関誌 発行/情宣部 印刷/杜陵プリント社

- 新年度のスタートにあたって
- 18新採用教職員歓迎会
- 教員採用試験要項発表
- 臨採者のつどい
- 3,11語り継ぐつどい
- 退職者を囲む会
- 看護休暇拡大
- 高等学校学習指導要領の告示に対する日教組書記長談話
- シリーズ高教組70年
- これまで・これから(今後の予定)
- 本部書記局の執行体制

新年度のスタートにあたって

執行委員長 小野寺 正 宏

新年度が始まりました。現場では新入生を迎え、何かと慌ただしい日々をお過ごしのことと思います。年度のスタートにあたり、執行委員会を代表してご挨拶を申し上げます。澤瀬前委員長の後を引き継ぎ、昨年4月から執行委員長の任にあたらせていただきました。2月の役員選挙では、多くの組合員から信任の票をいただき、当選することができました。残り1期2年を組合員の方々のご協力のもと責務を果たしていきたいと思っております。



3月24日 第1回支部・分会代表者会議

東日本大震災津波から、7年が経過しました。完全復興までは、まだまだ道半ばです。とくにも被災した子どもたちや私たちの仲間の教職員のこころの復興はこれからです。そして、東日本大震災津波の体験を風化させないとりくみも引き続き行いたいと思っております。被災地で生活する子どもたちや教職員の生活を守るため、支援していければと思っております。

次に、大きな課題は私たち教職員の超勤・多忙化の問題です。タイムカードや部活動指導員等のとりくみも本来の私たち教職員の超勤・多忙化を解消に資するように監視と検証をしていかなければなりません。「生徒のため」という一言で、学校が社会の多種多様な要求を引き受け、それが無定量に肥大してしまった結果が今の状況を生んでいます。私たち教職員の本来の仕事とは何なのかを確認し、それと同時に私たち自身で働き方をもう一度見直す時期にきていると思っております。子どもたちに豊かな教育を保障し、私たち教職員がいきいきと働きがいのある職場を構築するため組合員のみなさんの力をおかりしながら推しすすめていきたいと思っております。